

# 利賀っ子だより



R4. 3. 11

## ○ 卒業祝う会

本日、「Eさんの卒業を祝う会」がありました。卒業するEさんに感謝の気持ちを伝えようと、1～5年生の在校生が協力して計画や準備をしました。

在校生からは、鼓笛演奏の披露の後、出し物として校舎全体を使ったかくれんぼ、お世話になった場面の数々を再現した劇がありました。また、寄せ書きと全員がお揃いの手作りキーホルダーのプレゼントがありました。卒業生のEさんから、「Eさんクイズ」の出し物、鉄琴・木琴の手作りカバーと一人一人にメッセージカードのプレゼントがありました。

在校生は、学校全体を引っ張っていくという大きな役目をただ一人で果たしてきたEさんに感謝の気持ち、そして、今後は自分たちに任せてくださいという気持ちを何とか表そうとそれぞれが張り切っていました。

音楽係のRさんは、音楽を流したり止めたりするタイミングを直前まで確認していました。終わりの言葉の係のKさんは、「校長先生、聞いてください。」と自分が話す速さや声の大きさを事前に確かめていました。出し物担当の係のAさんは、全体の動きと時間を気にかけてながら進行し、終わった時には「よし、時間通り。」とつぶやいていました。

本校では、様々な活動の場で、全員で役割を分担します。自分の役割があるということは、責任感が育ったり、達成感を味わったりする絶好の機会となります。その機会が、全員に保障されています。これは、小規模の学校のよさです。Eさんの今年1年の活躍ぶりは、Eさんの努力はもちろんですが、小規模校での豊富な経験の積み重ねでもあったと感じました。



【Eさんからのプレゼント】

「本当は、Eさんに（中学校に）行ってほしくない。」と集会の後、つぶやいていたRさんの言葉は、いかに在校生がEさんを頼りにし、慕っていたかを表していました。また、Yさんは「在校生全員分と先生方の分のカード、そして（木琴・鉄琴）カバーを全部一人で仕上げ、ゲームの準備までしてさすがや!!」とますますEさんへの尊敬の念を強くしたようでした。

卒業式まで残すところあとわずか、全校児童、全職員で気持ちを込めて準備を整えていきます。

（高田 公美）



【1年生の先導で入場】